



梅の香だより

令和 8 年 1 月 8 日
ねづやま夢の学び舎
世田谷区立梅丘中学校
校長 石綿 健一郎
令和 7 年度 第 9 号

あけましておめでとうございます

令和 8 年。2026 年。新しい年になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、生徒の皆さんには梅丘中学校の校章が何を表しているか知っていますか。校章には「中」の文字を中心にして、3つの葉と3つの実が配されています。この3つの葉は本校の校訓である「自治・協同・創造」を示しています。そしてその実践を3つの実として表しています。校章の由来に示されている通り、正に梅丘中学校の活動を象徴していると感じます。



校旗の校章

それだけでなく、「3」にはもっと多くの意味が込められているのではないかとも思います。3つの葉を1年生、2年生、3年生と見立ててもよいでしょう。生徒・先生・保護者とみることもできます。地域・家庭・学校とみることもできるでしょう。または在校生・卒業生・小学生(未来の梅中生)などなど・・・、そのように考えると学校は多くの方々に支えられて成り立っていることも感じられます。

数学では3点で平面が決まるということを1年生で学習します(2・3年生覚えていますか?)。お盆を2本の指だけで支えようとしてもフラフラしてしまいますが、3本の指に乗せれば安定します。3つのものが互いに支え合い補完し合うことによって安定するともいえるでしょう。

学校の教育目標も「心豊かな人・真剣に考える人・実行力のある人」の3つです。今年も互いに支え合い、よりよい梅丘中学校をつくっていきましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

落ち葉はきボランティア

校庭の銀杏の木々。毎年、冬の季節は落ち葉の絨毯が校庭を彩ります。今年もたくさんの生徒が落ち葉はきボランティアに参加しています。



学校活動における AI の利活用について

世田谷区では、今年度新しいタブレット端末の配備を進めるとともに、端末内のアプリケーション等の更新も進めているところです。現在、生徒が使用している端末内にも AI 機能が搭載されたものが増えてきています。今後、授業等においても教員、生徒による AI の利活用を行っていくことが想定されます。情報リテラシー、情報モラルの向上に努め、安全な利活用に努めます。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

コラム ~^{うま}午年によせて~

今年は「午」年です。普段の生活の中で、身近に馬を見る機会は多くありませんが、世田谷は馬と関連の深い地域です。東京オリンピックの馬術競技で、馬事公苑が会場となつたことも記憶に新しいのではないかと思います。

考えてみると地名でも「上馬」、「下馬」、「駒沢」など、馬に関連する名称がいくつもあります。ちょっと調べてみるとこれらの地名は『源頼朝』に所縁(ゆかり)があるそうです。源頼朝が奥州征伐の折、蛇崩川(じゃくずれがわ)*付近を訪れた際に馬を引いて渡るように言ったことからその辺りを「馬引沢」と呼ぶようになったということです(駒繫(こまつなぎ)神社も頼朝が馬を繫(つな)いだことに由来するそうです)。この「馬引沢」から上馬・下馬・駒沢などの地名が生まれたそうです。地名の由来も調べてみると面白いですね。

では、「梅丘」の由来は・・・興味があったら調べてみてください。

*蛇崩川…現在は暗渠(あんきょ:地下に埋められた川や水路のこと)にして大部分が緑道になっていますが、かつて弦巻、三軒茶屋付近を流れていた川です